

令和7年度の事業報告書

NPO 法人木の子クラブ我孫子

1. 事業の成果

令和7年度は指定共同生活援助（グループホーム「ライムの木」）と指定生活介護（我孫子障害福祉サービス事業所「ひの木」）の2つの事業を行い、利用者の変動による減収があったが、利用者数は表1に示すように推移した。

表1 令和7年度の利用者数

サービス名 施設名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
共同生活援助 ライムの木	利用者数	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	138
	開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
	のべ入日	360	372	360	372	372	360	341	330	341	341	308	341	4198
生活介護 ひの木	利用者数	15	15	15	15	15	15	14	14	14	14	14	15	175
	登録者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
	開所日数	18	18	21	21	18	20	21	18	21	18	19	21	234
	のべ入日	270	270	315	315	270	300	294	320	294	252	266	315	3481
	実のべ人数	199	237	272	256	229	254	252	216	258	220	226	249	2868
	実利用者数	11.1	13.2	13.0	12.2	12.7	12.7	12.0	12.0	12.3	12.2	11.9	11.9	12.3
	参加率	73.7%	87.8%	86.3%	81.3%	84.8%	84.7%	85.7%	85.7%	87.8%	87.3%	85.0%	79.0%	82.4%

（登録者数とは施設利用契約数、利用者数とは月1回以上利用した人数）

参加率 82.4%
平均人数 12.3人/日

【感染症対策】

感染予防対策として、前年度に引き続き換気、マスク着用（任意）、手洗いの励行等の基本的対応策の徹底を図った。特に、換気においては、スタッフ、利用者全員で役割を分担し、日々の活動や業務の中に組み入れた。事業所内感染を出すことなく推移した。

【虐待事案の再発防止に向けた取り組み】

- ・虐待事案の再発防止を「職員セルフチェックリスト」、「権利擁護に関する利用者アンケート」を3ヶ月ごとに実施し、現状の再認識とともに実務の改善を図った。
- ・我孫子グループホーム連絡会、千葉県主催の講習会等に参加し、職員・非常勤職員全員を対象に「障害特性を理解し適切な支援を目指す」ことに取り組んだ。

【スタッフ研修の実施】

- ・スタッフの専門的技術の向上を推進し、スタッフの資格取得を支援した。今年度新たに2名が介護福祉士を取得した。

【利用者の安全確保のための施設整備等】

- ・事業計画に則り、利用者の安全確保の観点より、当施設（ひの木）の玄関口に安全灯の追加設置した。
- ・施設内の空調施設を6か月ごとにメンテして、温度、湿度などに注意して運営した。
- ・居間にテーブル、椅子を設置し快適空間を整備した。

【BCPに向けた取り組み】

自然災害（地震、水害等）、火災、感染症等の発生時に備えた業務継続計画を作成し、緊急時に備えた研修や訓練を月に1回の頻度で実施した。防災訓練や簡易トイレの設置及び備蓄品の確認を半期に1回行った。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) GH 運営事業 定款第5条①, ⑤	利用者の生活基盤として、ホーム、食事、生活、金銭管理を提供しサポートを行う。	R7/4/1~R8/3/31	市内 グループ ホーム	8名	グループホーム 入居者 11人 平均 11.5人/月
(2) 生活介護事業 定款第5条①, ⑤	利用者の生活基盤の一つとして、日中の居場所を提供しサポートを行う。	R7/4/1~R8/3/31	市内 施設	6名	生活介護 利用者平均 12.3名/日 延べ 2868人 参加率 82.4%
(3) 普及啓発事業 定款第5条②	ホームページを開設し活動内容を紹介する。また利用者が主宰する自助グループ「倶楽部バルーン」の会報発行を支援し活動内容を紹介する。	R7/4/1~R8/3/31	市内 施設	4名	HP 開設 バルーン会報発 行 3回
(4) 地域交流事業 定款第5条③	地域との交流イベントを企画。	R7/4/1~R8/3/31	市内施 設	3名	自助グループ 倶楽部バルー ンの会員

(2) その他の事業

定款第5条第6項に示す「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」については実施していない。

3. 各事業の活動内容

(1) グループホーム「ライムの木」の運営

本年度は11.5人（月平均）が在籍した。食事の提供、金銭管理支援、服薬管理支援、洗濯や掃除などの生活支援、服装の選択、余暇の利用方法の提案などの支援を行った。

また、利用者の体調が不安定になった場合には、医師との相談を勧め、悩み事等の相談には個別面談を通じてきめ細かなサポートを行った。

「食事」においては、10人の世話人がシフトを組み、朝食（土日除く）、昼食（隔週水曜日のみ）、夕食（毎日）を、それぞれ朝 8:00、昼 12:00、夕 18:00 に手作りの食事を提供した。家庭の味を基本として、栄養士による監督のもと、肉、魚、麺類など栄養バランスを考慮した多彩なメニューを用意することで、利用者に好評を得ている。

■余暇の支援

連休中には男子会、女子会を企画して希望者による外食支援を行った。

また利用者の企画であるケイタンハウスでは趣味を生かしたロボット、VR 体験、マッサージ、美容などをテーマに休日を楽しく過ごした。

■掃除支援

毎月2回利用者、スタッフがにて住居の掃除を支援して、快適空間の維持のためのアドバイスを行った。

利用者の男女別、障害区分別、年代別は表 2～4 の通り。

令和8年3月31日現在

表 2

共同生活援助	男	6
	女	5
	合計	11

表 5

生活介護	男	9
	女	6
	合計	15

表 3

区分 6	0
区分 5	0
区分 4	6
区分 3	5
区分 2	0
合計	11

表 4

70代	1
60代	2
50代	2
40代	5
30代	1
合計	11

表 6

区分 5	1
区分 4	8
区分 3	6
区分 2	0
合計	15

表 7

70代	1
60代	3
50代	5
40代	4
20代	2
合計	15

(2) 生活介護「ひの木」の運営

20名の定員に対して令和8年3月末日現在15名が登録しており、通所する利用者は1日平均12.3名、参加率は82.4%であった。

利用者の男女別、障害区分別、年代別は表5～7の通り。

施設では朝礼、体操、昼食、昼寝、各種学習プログラム、終礼などスケジュールに沿って、午前10時から午後4時までの一日を過ごしてもらった。新たに利用者主導のフリープログラムを取り入れ自主性を尊重し、施設内での映画鑑賞、カラオケ、カードゲーム、VR体験会、外などの他に、買い物支援や外出支援を行った。

■ 主な学習プログラム

園づくり、施設内掃除、買い物支援、散歩、カラオケ、フリートークイベント、パソコン入力作業（俳句雑誌の制作）、夏祭り（料理とゲーム）、防災教育（避難訓練、AED講習参加）

■ 外出支援

近くのスーパーやコンビニへの買い物や、食堂に全員で外食するなど交流を図った。今年度は福祉バスを利用した日帰り旅行は銚子の犬吠埼テラスにて食事、観光をした。

■ 金銭管理支援

日々の生活費の管理及び月の支出の調整（希望者を対象とした個別契約による）

■ 健康相談、受診同行

看護師による健康相談（毎週金曜日）、特定検診、結核検診、がん検診の予約、同行支援を行った。利用者の2～3名に異常を発見し、痔及び肺がんなど早期治療することができ、医療との連携による支援をおこないました。

■ 地域連携推進会議

地域連携推進会議を開催して、利用者と地域との関係づくり、施設の理解の促進、透明性、権利擁護について話し合いをおこなった。グループホームの3か所の見学を実施いたしました。スタッフ以外ではお客様9名となりました。

利用者1名 利用者の家族1名 地域の関係者3名

障害者まちかど相談室1名 グループホーム等支援ワーカー1名

我孫子市グループホーム連絡会会員1名 我孫子市障害者支援課職員1名

地域活動として、第1木曜日は毎週地域清掃活動や 年1回の地区清掃活動へ参加しました。

■ ネットワーク環境の整備

外部業者に相談しネットセキュリティ対策として UTM 機器の導入、PC セキュアブート対策の実施などにより、ネットワーク環境の安全性を向上させた。

■ 太陽光発電の稼働状況の紹介

市民発電として5年経過し、稼働状況の紹介や節電実績について、自然エネルギーをすすめる我孫子の会に紹介した。

(3) 普及啓発事業

ホームページ及び法人用 facebook ページ、instagram を利用して日々の活動を細かく紹介した。

ホームページ <http://kinoko-abiko.life.coocan.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kinokoabiko002>

Instagram https://www.instagram/kinoko_club_abiko

■ 施設利用者が中心メンバーとなる自助グループ「倶楽部バルーン」の活動(倶楽部バルーンだよりの発行、DVD鑑賞、季節のスイーツ試食会等)を支援した。

■ 本年度に同会が発行した会報「倶楽部バルーンだより」は以下のとおり。

「倶楽部バルーンだより（2025年4月第33号）

「倶楽部バルーンだより（2025年9月第34号）

「倶楽部バルーンだより（2026年3月第35号）

以上